



今年も暑い夏がやってくる?? orz. **早めの暑熱対策で事故防止!**

「異常気象」続きの昨今、今のところ3か月予報では猛暑は予想されていませんが、それでも暑い季節がやってきます。皮下脂肪が厚く汗腺が退化している豚は特に暑さが苦手、暑熱対策を再確認し、事故防止につとめましょう。

畜舎対策

- ① よしずや寒冷紗、グリーンカーテンで直射日光を遮り、温度の上昇を抑える。
- ② 畜舎の屋根に消石灰、断熱塗料等の塗布や散水を行い、舎内温度を低下させる。
- ③ 換気扇・扇風機・ダクト送風などを活用する。密飼いを避け、風通しを良くする。



家畜対策

- ① 細霧や氷水ドロップなどを活用、体感温度を低下させる。(濡れすぎに注意)
- ② 給水器の清掃・点検をこまめに行い、新鮮・清潔な水が常時十分飲めるようにする。
- ③ 食塩、ビタミン、ミネラルを補給する。熱による飼料の品質劣化にも注意。

改めて豚コレラ侵入防止対策の徹底をお願いします!

県畜産広報等でもお知らせしていますが、岐阜・愛知県の豚コレラの発生は止まりません。野生イノシシからの検出事例も多数・広範囲にわたり、県境まで迫ってきました。侵入防止のため、引き続き飼養衛生管理の徹底、野生動物対策に万全をお願いします。

<発生予防対策の重要ポイント(抜粋)>

★人・物・車両によるウイルスの持込み防止

- ① 衛生管理区域、豚舎への出入りの際の洗浄・消毒
→外来者、運搬車両も。運転席、フロアマットも消毒、靴の履き替え、更衣等々
- ② 衛生管理区域専用の衣服、靴を設置し使用
- ③ 人や物、豚の出入りの記録をとる
- ④ 飼料に肉を含み、又は含む可能性があるときは、70℃30分間以上又は80℃3分間以上の加熱処理を徹底

★野生動物対策

- ① 飼料保管場所等へのねずみ等の野生動物の排せつ物等の混入防止
- ② 豚舎周囲の清掃、整理・整頓
- ③ 死亡家畜の処理までの間、野生動物に荒らされないよう適切に保管

異常の連絡は当所 Tel **0267-62-4123** へ! (夜間・休日も)